

ainoha
— アイバノコトノハ —



特集 その後どのように暮らしていますか？

山道の景色をきりとって

take free
ご自由にお持ち帰りください

2016 * July vol.55

特集 その後どのように暮らしていますか？

山道の景色をきりとって

北区 | S 邸(ご夫婦2人) | 木造一戸建て



1

家づくりストーリー

雨がやんだあとのしっとりとした空気感の中、北区にお住まいのS様ご夫婦の家を訪ねました。奥様のご両親から引き継いでずっと暮らしてきた家建て替えて、今の家に住みはじめてちょうど10年が経ちます。

もともと共働きだったお二人。「定年後は家にいる時間が増えるだろうから、過ごしやすい家になりたい」と思って家づくりを考えはじめたんです。そんな中、ちょうど本屋で目に留まったのが建築家、永田昌民さんの『大きな暮らしができる小さな家』という本でした」と、S様はその内容にとっても共感。敷地いっぱい家に建てるのではなく、庭の緑を取り入れつつ暮らしに必要な分だけの居住空間を希望し、延床面積25坪ほどのちょうどよい住まいが完成したのです。



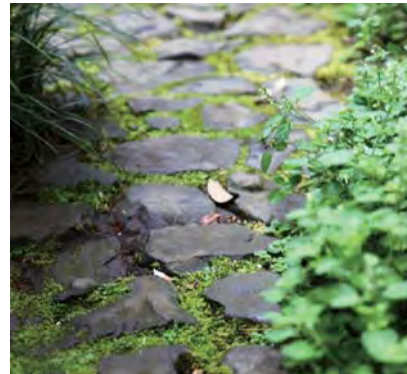


2

山荘のような景色

S様の家のみどころの一つは、なんといってもリビングから眺める緑いっぱいの庭の景色。深緑の中に少しゴツゴツした敷石の通り道があり、まるで山荘にいるかのような感覚。ご夫婦ともに山の中を歩くのが大好きで、お二人が初めて出会ったのも山歩きの会だったという素敵なお話もいただきました。庭づくりをする際に、造園の方にそのことをお伝えすると、山の中の雰囲気に合わせて植栽選びをしてもらえ、山道の風景をきりとったような庭ができあがりました。

今では庭のお手入れを日々楽しまれているという奥様。「お庭が完成したら鳥がよく遊びに来るようになったんですよ。それに自然と風に乗ってやってきた種から芽が出てくることもあって、何が育つか楽しみで♪」と笑顔でお話してくださいました。ちょっとした日々の変化を身近に感じながら、ゆったりとした時間が流れているS様の暮らし。



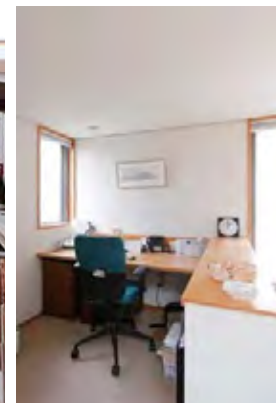
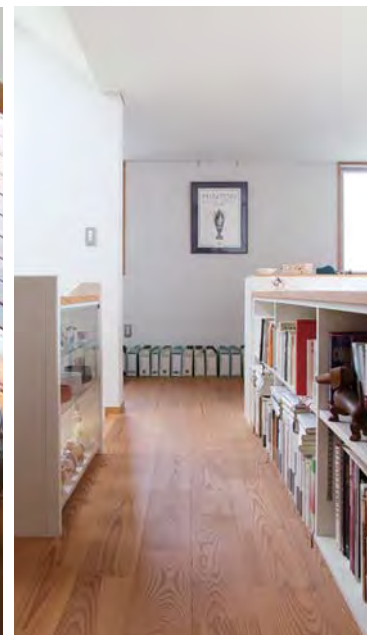
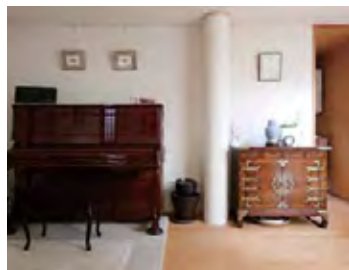
*造園：彩苑さん

3

1階リビング・ダイニング



1階はLDKのワンルーム。吹抜けのダイニングは明るい光が差し込む開放感あるスペース。一方リビングは天井を低めにしたちょっと落ち着いた空間。窓辺の椅子に座って庭を横目に「新聞や本を読んだりCDを聞いたりするのが幸せ」と奥様。他にも古道具や奥様のお父様の家の襖を加工してつくった大きな額装など、部屋の中には素敵なポイントがたくさん！



4

2階スペース



階段を上ると左には半個室になったご主人の書斎。吹抜けから1階や庭の様子眺められます。そして廊下横の壁を利用した棚には本がたくさん並んでいました。階段横にはショーケースがあり、奥様が香港出張の際に購入したという嗅ぎタバコの入れ物や奥様のお父様が使っていた茶器などが飾られていて、ここだけ小さな美術館のよう。収納や飾り棚など、ちょっとした工夫で廊下が華やかになっています。

取材後記

ちょうどこの日はS様の家の10年点検。われらがメンテナンス・リフォーム部の佐々木も取材に同行しました。家も人と同じで定期的な健康診断を行うことで、万が一のことがあっても早期発見で防ぐことができます。ずっと住み続けていく家だからこそ大事にしたいものです。「毎年点検に来てもらえるのでとても安心」と家を大切に思うS様の言葉に、なんだかとても温かい気持ちになったのでした。(記:広報 吉川)



取材: 佐々木・伊藤・吉川
取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

四季に寄り添う庭との暮らし

特集 その後どのように暮らしていますか？

四季に寄り添う庭との暮らし

小金井市 | K邸(ご夫婦2人+子ども2人) | 木造一戸建て



1

家づくりストーリー

今回ご紹介させて頂くのは、自然あふれる緑道沿いに建つお住まい。こちらに住みはじめてから2年が経つK様に、現在の暮らしぶりを伺いました。

まず目に飛び込んでくるのは素敵なお庭。なんと、ウッドデッキや薪棚をはじめ、お庭を含めた家の外構はK様ご夫婦がご自身でつくられたとのこと！

「物心がついたときから植物が大好きでした。学生時代も造園について勉強して、今は主人と一緒に[※]造園屋に勤めています。『いつかは自分の家を持ちたい……!』と思いはじめたのは、働きはじめた頃からですね。長い期間いろいろ夢を膨らませていました」と語る奥様。その後、本格的に家づくりを考え、土地探しの中でこの緑いっぱい土地に出会ったのです。

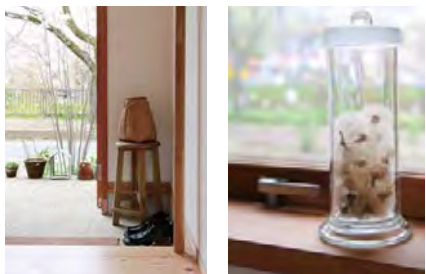
※アルテ造園さん(東村山市)



ウッドデッキはお花見やお月見をしたり、四季折々の景色を楽しむ贅沢なスペース

2

景色を眺める2階リビング



窓から見える車の流れに、乗り物好きのお兄ちゃんも大喜び。

大好きな車が
通るのが見えるよ！



薪ストーブ:デンマーク SCAN

無垢材(赤松)の床で妹ちゃんも気持ちよさそう!

「緑道沿いの景色を楽しみたい」というK様の希望から、リビングは南側ではなく、あえて眺めの良い北側を選択。さらにL字窓にすることでより明るく開けた印象になっています。「1日の始まりは窓からの景色を眺めています。四季や日々の変化を感じられて、今ではそれが毎日

の楽しみになっているんですよ」と笑顔の奥様。木々の並びだけでなく、川の流れや車の通り、サイクリングやお散歩している人、そんな日常の何気ない風景も一緒に眺められるのが嬉しいというお話もされていました。また、住み替えてから1年の大半を素足で過ごすようになったとい

うK様。夏は扇風機と窓を開けて風通しを良くして過ごし、冬は薪ストーブとOMソーラーを利用することで、裸足のままでも気持ち良いエアコンいらずの生活をされています。家の中だけでなく、外の景色や自然の力を上手に取り入れながらの環境にもやさしい素敵な暮らしです。

3

まわりの景色に合う植栽



緑道沿いに合ったナチュラルな雰囲気な植栽を選んで庭づくりをしているというK様。山野草をはじめ、自然と生えてきたというスマレやオダマキも可愛く植えられていました。また、パーゴラ風の薪棚は外から見た時も素敵に見えるように……とツルバラを這わせていたり。「庭を見て声をかけてくれる方もいて、そんなつながりを大切にお庭をつくっていきたいです」とニコリ。



玄関アプローチは経年するほど味わい深くなる大谷石を使用。「石と土の中間的な素材感がとても大好き」とのことです。K様もお気に入りの素材。



4

お気に入りの飾る

棚の扉をなくして、お気に入りの食器やお鍋を見せられるようになっている2階キッチン。そして階段には家族みんなで使える本棚がつくられていました。飾られているものはどれも素敵で、奥さまが旅先の民芸館で見つけた小物や友人からの頂き物の食器など、一つひとつに物語がありました。

取材後記

普段家の中にいると見逃してしまいがちな季節の小さな変化。K様のおうちではそんな小さな移り変わりも、じっくりと感じることができるような時間の流れがありました。家の中と外とが交わると、こんなに心地の良いものなのだと感動でした。(記: 広報 吉川)



アルテ造園 <http://arte-zouen.com/>

取材: 伊藤・吉川・遠藤 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>



特集 その後どのように暮らしていますか？

自然の光とともに暮らす



特集 その後どのように暮らしていますか？

自然の光とともに暮らす

東京都国立市 | K邸(ご夫婦+お子様) | 戸建住宅

1

家づくりストーリー

今回は、暮らしはじめてから8年ほど経つK様のお住まいを訪ねました。周辺は畑が広がり、のんびり歩いている人も多い穏やかな街並み。「散歩できる街というのがとても気に入っています」と語るK様。2年前に飼いはじめた犬のクーちゃんと朝の散歩がてら、とれたて野菜を買って帰るのが日課になっているそうです。

さて、K様が家づくりを考えはじめたのはお子様の小学校入学がキッカケでした。土地探しをする中で出会ったのが今の場所。分譲地だったため、入居時期や世代が近いご家族が多く、みなさん今でもとても仲良しなのだそうです。「工事中は家族でよく現場を見に行きましたが、子ども達もすぐに仲良くなって遊んでいて、ご近所さん同士のつながりがあることが嬉しかったです」とK様。





2

自然の光が差し込む明るい家

昼間は外からの明るい光が差し込む室内。「家族みんな、自然の光の中で一日を過ごすのが好きなんです」とK様。以前の家はあまり日が当たらず常に電気をつけていなければならなかったそうです。今のお住まいでは、窓を大きくとったり吹抜けをつくることで、朝昼はあまり照明に頼らず外からの日の光をとりこみ、夜は必要最低限の灯りでしっとりとした暗さの中で過ごす……そんな自然本来のリズムに寄り添った暮らしを楽しまれています。

また、当時の家づくりの思い出をお聞きする中で「職人さんたちが気持ちを込めてとても丁寧に作ってくれました」とのお話も。キッチンの引き出しなどの建具は、もともと持っていた食器の数や大きさを伝えるとピッタリ収納できるようにつくってくれたり、デッキ工事の際には大工さんが「みんなでデッキでくつろげるように」と手づくりの小さなテーブルをプレゼントしてくれたこともあったそうです。そのテーブルは今でもキッチンの下に大切にしまっていました。「現場もきれいで、親切な職人さん達で嬉しかったです」と笑顔で語るK様。なんとも素敵な家づくりのエピソードでした。



愛犬のクーちゃん

特集 その後どのように暮らしていますか？

じっくりと手をかけて暮らす





特集 その後どのように暮らしていますか？

じっくりと手をかけて暮らす

東京都小金井市 | A 邸(ご夫婦2人+子ども1人) 木造2階建て

1 家づくりストーリー

今回取材で訪れたのは3人暮らしのA様のお住まい。周りは閑静な住宅街でありながら梅林や畑などの自然もある穏やかな場所です。この地に住みはじめてから9年を経たご家族に暮らしぶりを伺いました。

以前は社宅住まいだったA様。庭仕事をしたり子どもがのびのび暮らせるようにと考えはじめたことが家づくりのキッカケでした。

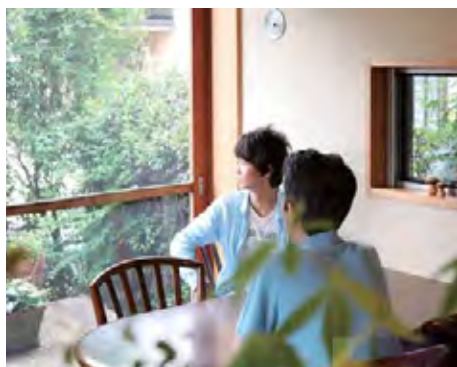
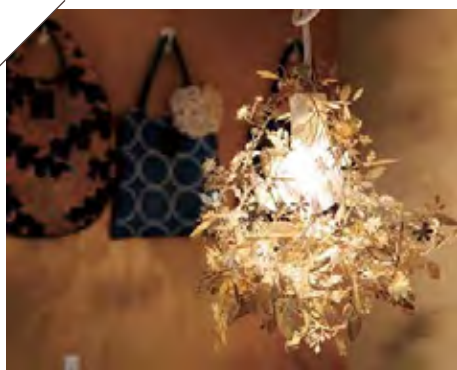
「初めの頃は決まっていた計画を断念したり、

家づくり自体をあきらめようと思ったことも何度かありました。そんな中、住宅雑誌で見てずっと気になっていたOMソーラーの家の見学会に行ってみたんです。そこで出会ったのが当時営業だった佐々木さんでした。家についてとにかく熱く語ってくれました」と出会った頃の様子を思い出して笑顔で話してくださった奥さま。じっくりと手をかける暮らしを大切にしたいと考えていたA様ご家族にとって、自然素材の家づくりは、とても共感できるものでした。



2

北側からの優しい光



家にある家具は、長野県出身の奥さまが学生時代よくお店の前を通りずっと気になっていたという松葉屋家具店のもの。

北に向けられたA様のお住まい。南にお隣のお家が迫っていたことや北から梅林などの緑が眺められることで思い切って北側に大きな窓と吹抜けを設け、日中の明るい光を室内へ呼び込んでいます。「土地探して見てきた土地は50以上はあったと思います。その度に佐々木さんも来てくれて包み隠さずアド

バイスをくれました。この土地を見た佐々木さんが『北向きだし中途半端な土地ですねえ〜、でも!!OMソーラーで建てるなら面白い土地ですね!』この言葉が背中を押してくれました」と奥さま。

家を建ててから9年。リビングの床は経年美化で味わい深い色になっていました。A様ご

夫婦が結婚時に購入されたという思い出の家具も、年月を重ねるごとに家全体に馴染んでいるようでした。ダイニングからはモミジやマンサクなど四季の変化に富んだお庭の様子が眺められたり、朝の清々しい光が差し込む中で朝食を楽しめたり……ここは家族みんなが一番心地よく過ごせる場所です。

3 キッチン



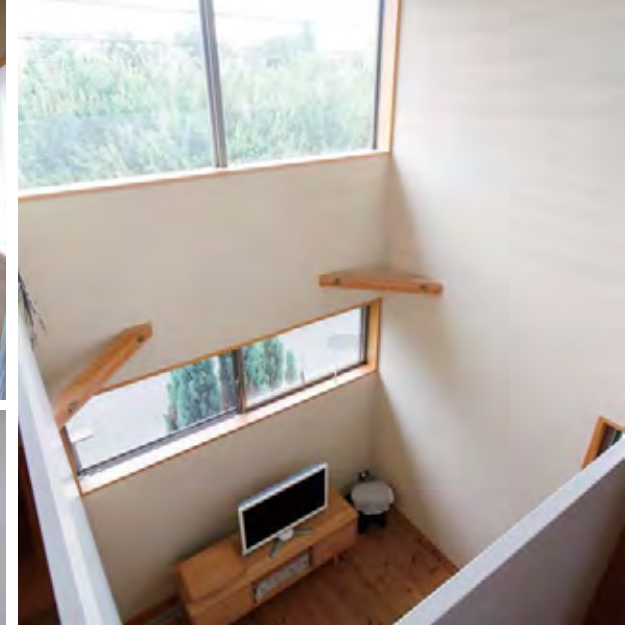
キッチンは奥さまのこだわりスペース。ご自身でタイルを選んだり、食器棚には知り合いの作家さんのつくったカーテンを使用。よく雑貨屋めぐりをされるそうで、可愛い食器がたくさん並んでいました。「手間をかけることが好きなんです」と言う奥さまは、お料理で使うドレッシングもお手製のもの!「しその葉やバジルをビンに入れて水を張って冷蔵庫で保存しておくとも長持ちしますよ～」と教えていただきました。



ロフトつきの子ども部屋



3帖の和室



吹抜けと北側の窓からさしこむ優しい光



奥さまお手製のカレー味の玄米ごはん

4 2階スペース



2階の吹抜けからは窓いっぱいにはろがる梅林が眺められます。カッコウやウグイスが遊びに来ることもあるそうです。3帖の小さな和室は「畳の香りがして落ち着く」と、ご主人お気に入りの居場所。子ども部屋は本をたくさん収納できる工夫がされ、ロフトは息子さんの趣味室になっています。2階のどこにいても吹抜けからのやわらかい光がさしこみ、とても居心地良く過ごせるのが嬉しいところ。



寝室



手づくりカーテン

取材後記



「ここに住みはじめてから、ご近所同士での交流ができました。庭先での挨拶やお向かいのおばあちゃんの家を切りに行き、そのお礼に果物を頂いたり。みんな仲良しなんです」と嬉しそうに話して下さったA様。周りの人との日々のつながり、本当に素敵な土地との出会ったのだなぁと、私も嬉しい気持ちになったのでした。



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

取材:伊藤 / 吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>

3 住まいの見どころ紹介

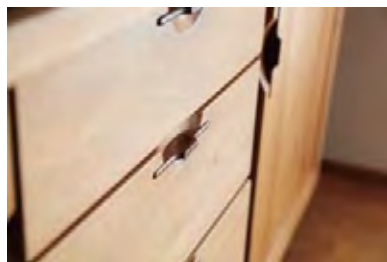


リビング・ダイニング・キッチンがひとつになった空間

▲ リビング・ダイニング

1階

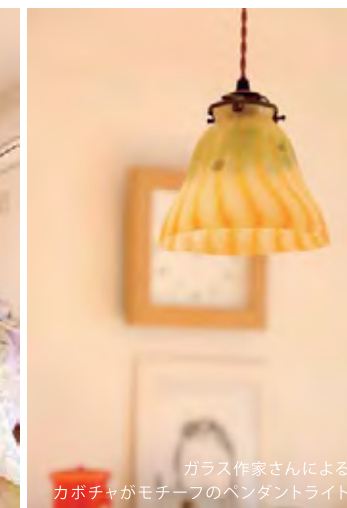
1階は壁で仕切らないワンルームにしたいと希望していたK様。ダイニングとトイレの間など必要な箇所のみ間仕切り家具を設置し、ゆったりとした空間になっています。家の中にあるテーブルやイスなどの家具は、国立市の個展で出会ったという長野県の家具作家さんの作品。もう20年以上愛用しているそうです!とくに奥様はご家族といろいろな場所を旅しながら、お気に入りの家具や雑貨を見つけるのが好きとのこと。



2階

子ども部屋 ▶

2階は子ども部屋や寝室、浴室となっています。その中で白く塗られている天井や壁はなんとご家族全員でDIY塗装したものです!家の中に家族それぞれの手しごとが思い出となって残っていました。



ガラス作家さんによるカボチャがモチーフのペンダントライト

◀ キッチン

1階



お料理好きの奥様の「一度にたくさんの食器や調理器具を置けるようにしたい」との希望から、壁一面をオープンキッチンとしました。床にはタイルを貼り、水や油がはねてもお手入れしやすくなっています。また、奥

はパントリーになっていて、以前の家で使っていたキッチン用の作り付け棚(ご主人お手製!)がそのままピタリ納まるよう設計されています。「広くてとても使いやすいキッチンです」と奥様もにっこり。

取材後記

取材の中で、行きつけの農家さんやお菓子屋さんなど家の近くにお気に入りのお店があるのが嬉しいというお話や「お散歩するのが楽しい街」という言葉がとても印象的でした。家とともにずっと住み続けていく街、私も大事にしていきたいなあと感じたのでした。(文:広報 吉川)



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」
取材:伊藤・吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>



特集 「その後、どのように暮らしていますか？」

家族と一緒に成長する家





ずっと木の家に
住みたいと思っていました

特集 「その後、どのように暮らしていますか？」

家族と一緒に成長する家

東京都小金井市 | 1邸

木造ドミノ住宅 4人家族(ご夫婦+子ども2人)

Living Room



hello!

1 Story

家づくりのキッカケは？

以前は小金井市内のマンションで暮らしていたIさま。子どもたち2人も遊び盛りになってきたので、「家の中でものびのび過ごせるように」という想いから一戸建てへの引っ越しを考えはじめました。当初はなかなか良い土地が見つからなかったそうです。そんな時、たまたま近くの神社へ散歩に行くと、なんとすぐそばで土地販売が行われていました。「以前からお宮参りなどでとても親しみのある神社だったんですよ〜」と、にっこりIさま。家づくりや土地探しには、思わぬところに偶然の出会いがあるようです。



Handmade Mobile

木の枝と毛糸を使った手作りモビール

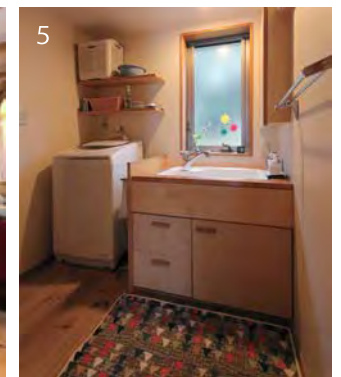
2 Lifestyle

可愛がり甲斐のあるおうち



ずっと木の家に住みたいと思っていたという奥さま。5年経ったパインの床はほんのり飴色になってしっとりとした艶がありました。Iさまは家族で毎年1回かさず床や浴室を丁寧に塗装しているそうです。ダイニングテーブルの塗装も無垢の自然な風合いを生かすソープ仕上げ。メンテナンスはソープ液を泡立ててやさしく拭き取り

ます。「お手入れをすると家がこたえてくれて、可愛がり甲斐のあるおうちです♪」とにっこり奥さま。気持ちを込めて住まうと家も美しく育っていくのですね。リビングでは、子ども達が遊んだりお勉強をしたり。「この家に住み替えてからみんながのびのびできるようになって、気持ちがゆったりしました」と笑顔でお話されていました。



1~3.窓の外が眺められるカウンターキッチン。奥さまよりフレンチプレスコーヒーをいただきました。4.経年変化できれいな飴色になった無垢のパインの床。ダイニングには北の住まい設計社のメープル素材のテーブル。5.服などちょっとした洗い物もできる少し大きめの洗面ボウル。台の下の引き出しはもともと何もなかったところを大工さんがびったり合わせてつくってくれたもの。

3

Partition

子どもの成長にあわせて 部屋を間仕切り

2階の子ども部屋。最初はワンルームでしたが、子どもたちも成長してきたので現在は壁で仕切って2部屋になっています。本が大好きで「ベッドに寝ながら本を読みたい!」という子どもたちの希望で、壁に本棚も取り付けられています。壁の奥に引き戸がついているのは、1つのエアコンの風を両方の部屋で共有できるようにするためのエコな工夫です。



before



間仕切り前…部屋の中心に壁を設置します。



工事…ましろ内装/益子さん&電気/野田さん

----- 間仕切り壁位置



Children's room

間仕切り完了…壁の取り付け工期は約3日ほど。間仕切り壁の取り付け・取り外しが簡単に行えるのは木造ドミノ住宅ならではの。



アプローチの植栽は、Iさまのご近所のお花屋さんによるもの。デッキの前にはちいさな畑があり、夏は家庭菜園になります。

4

Planting

一緒に育つ記念樹



玄関先に植えられているギンバイカは、「祝いの木」としてお子さまの小学校入学時に記念樹として配られたもの。初夏に白い花が咲き、冬にかけて青い実がなります。奥さまは「鳥が遊びに来る家が憧れ」とのことで、他にも鳥が食べに来られるようにジューンベリーなどの実のなる木も植えられました。植物たちも家族と一緒にすくすく育ちます。



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

取材:伊藤/吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>

ainoha 2015*february-07